

事業報告書

平成 30 年度



社会福祉法人聖啓会

特別養護老人ホーム菜の花

ショートステイ菜の花

デイサービス菜の花

居宅介護支援事業所菜の花

目次

法人役員	1
法人活動報告	3
特別養護老人ホーム菜の花 事業報告	4
支援業務	7
機能訓練	9
栄養業務	10
介護業務	12
全体行事	17
ボランティア	18
ショートステイ菜の花 事業報告	21
デイサービス菜の花 事業報告	22
居宅介護支援事業所菜の花 事業報告	25
医務計画（健康サポートセンター報告）	26
ボランティア受入報告	27
消防・防災 事業報告	28
寄付・寄贈 報告	29
平成30年度 苦情対応報告	30
平成30年度 苦情・対応 一覧	31
内部研修報告 一覧	32
外部研修報告 一覧	34
事業報告の附属明細書	39

法人役員

理事

氏名	住所
(理事長)星野 正明	静岡県藤枝市
星野 美奈子	静岡県藤枝市
金原 俊輔	静岡県浜松市
川口 節子	静岡県静岡市
神尾 芳典	静岡県藤枝市
亀甲 良明	静岡県牧之原市

任期 平成 28 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時から
平成 30 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

監事

氏名	住所
杉山 重人	静岡県菊川市
松村 奈緒子	静岡県藤枝市

任期 平成 28 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時から
平成 30 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

評議員

氏名	住所
石田 治子	静岡県藤枝市
岩崎 丈夫	静岡県藤枝市
加納 裕子	静岡県島田市
佐藤 芳憲	静岡県静岡市
杉山 芳白	静岡県静岡市
西沢 良孝	静岡県藤枝市
八木 あさよ	静岡県藤枝市

任期 平成 29 年 4 月 1 日から
平成 32 年度決算に関する定時評議委員会の終結の時まで

法人活動報告

第一回理事会 平成 30 年 6 月 7 日

種別	No.	議題
報告事項	第 1 号	理事長専決事項・これまでの経緯
議案	第 1 号	平成 29 年度 監事監査報告・事業報告及び決算報告
議案	第 2 号	社会福祉充実計画について
議案	第 3 号	定時評議委員会招集・日時・場所・議題について
議案	第 4 号	経理規程変更

第一回評議員会 平成 30 年 6 月 7 日

種別	No.	議題
報告事項	第 1 号	事業報告
議案	第 1 号	計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
報告事項	第 2 号	社会福祉充実計画

第二回理事会 平成 31 年 3 月 7 日

種別	No.	議題
報告事項	第 2 号	理事長専決事項・これまでの経緯
議案	第 5 号	借入金繰上返済・弁済保証金負担
議案	第 6 号	平成 30 年度第一次補正予算
議案	第 7 号	平成 31 年度予算・事業計画書
議案	第 8 号	評議員候補推薦案
議案	第 9 号	評議員選任解任委員会招集
議案	第 10 号	慶弔見舞金規程
議案	第 11 号	準職員就業規則改訂
議案	第 12 号	準職員給与規定改訂
議案	第 13 号	職員給与規程改訂
議案	第 14 号	パートタイマー給与規程給与規程改訂

特別養護老人ホーム菜の花 事業報告

1 施設運営の方針

<ご利用者対応指針>に関する報告

- ① 身体拘束…………… 委員会の場で身体拘束要因対象者に対し対応方法を検討した。スピーチロックに重点をおき、職員全員にアンケートを取り意識改革を行なった。
- ② 生活環境…………… 昨年同様に職員が各フロアで特色を出し環境を整えた。又、葉植物を配置。又、手造りのテーブルや高さを調整した。南側のベランダにお花のプランターを配置し各居室からも眺められる事を継続し、ベランダの花を植え替えた。常に綺麗な環境を提供できるようにした。
- ③ 排泄援助の個別化 …… 排泄委員会で討議し、下剤ゼロを目指し食物繊維（サンファイバー）を使用した。水分摂取の援助やオムツ外しを視野に入れ、支援した。
- ④ 食形態…………… 管理栄養士が主体となり担当者会議と摂食委員会の場で検討している。給食会議では委託業者と打ち合わせを実施。
- ⑤ 入浴時間…………… 殆どの方が日中でも満足されて居られる様子。
- ⑥ 認知症…………… フリーダムを活用し搭載のメニューを駆使し進行予防のレクを実施した。研修会開催。健康倶楽部の活躍と機能訓練士の屋外散歩が効を奏した。
- ⑦ 健康管理…………… 嘱託医は毎週2回の回診と看護師による健康サポート部が毎日の健康管理・健康診断・緊急時に対応。今期も感染症（インフルエンザ）は0名であった。

<職員処遇指針>に関する報告

- ① 人財…………… 17名が退職。3月現在90名（パート含）で運営。
- ② ワークライフ…………… 職員一人一人のライフスタイルの中で勤務。シフトは84に分けている。
- ③ 福利厚生…………… 忘年会、秋祭り、など各行事の際等、職員間の交流を図っている。志太会に加入し他施設との交流を図っている。
- ④ 外部、内部研修…………… 別紙研修一覧表参照。

<地域や関係機関との連携>に関する報告

- ① 協力病院との連携 …… 緊急搬送は別紙参照。相談員、ケアマネとの相互の連携を図った。
- ② 地域の行事の参加 …… 4月 河川の清掃(町内行事)
10月 白髭神社祭り
11月 烏帽子山祭り
1月 内瀬戸町内会 組長会
- ③ 地域町内会に加入 …… 4月に継続手続きした
- ④ 地域防災拠点…………… 藤枝市特別養護老人ホームの施設長会で福祉避難所協定を結ぶ。
- ⑤ 地域交流室…………… 解放している。入居者の方と地域、ご家族との食事会など。地域の方の見学の際にお茶のおもてなしをしている。作品展の開催時近隣の方々、ご家族に解放。
- ⑥ ボランティア…………… 受け入れ状況は別紙参照
- ⑦ 関連施設の勉強会 …… 藤枝市立総合病院主催の勉強会に参加

- ⑧ 施設主催…………… イベントを地域に発信。
- ⑨ 「菜の花だより」…… 毎月発行。ご家族、関連施設に発送。
- ⑩ ホームページ…………… 毎月更新。
- ⑪ 地域の学校…………… 青島小学校6年生体験学習計1日33名受入
藤枝市立藤枝中学校2年生の福祉体験58名を受入
藤枝市北青島中学校1年生3名研修受入
県立中央特別支援学校実1名習受入
静岡大学教育学部介護体験実習1名5日間受入
県警察学校介護研修12名受入
駿遠学園実習1名5日間受入
介護初任者研修9名受入
- ⑫ 自然との触れ合い…… 外出レクは別紙参照
- ⑬ 地域の名産…………… 名物を取り入れた献立は栄養事業報告参照。
- ⑭ 地域のレストラン…… レストランやお寿司屋など外食レクは今年は実施できなかった。舌鼓倶楽部で生チョコを食べる会を開催

2 平成30年度の評価及び来期の課題

開設7年目で計画通りの内容で運営できた。

定着率を上げる為賃金の見直しを行ない続けた。8年目となりユニットのリーダーが育ってきた。職員が安心して働けるように介護士長制度を作り相談できる体制とした。その体制を活用し、職員のコミュニケーションが取れる施設の職風土の生かして遣り甲斐のある職場にしていきたい。

<8年目に向けて>

- ① 介護のスキルUPを図る。
 - ・ユニットリーダーの育成→引き続き研修を行ないマネジメントスキルアップを図る。目標管理の徹底。自己評価により達成感を感じる。
 - ・内部研修を充実させる→毎日12時30分～13時まで。講師は職員
 - ・ユニットケアの実践→企画運営をユニット単位で任せる。(ユニット費の設定)
 - ・受け持ち制を実践→介護職員と入居者との信頼関係を深める。
 - ・口腔ケアの充実→口腔ケア研修計画。歯科衛生士の雇用。
- ② 職員の満足度を上げる。
 - ・福利厚生を充実→職員間のコミュニケーションを良好にする
 - ・遣り甲斐感→処遇改善。目標管理(自分の目指す事を明確にする)
 - ・心の健康づくり→介護士長を中心に(面接、相談窓口を作る)
 - ・介護全体会議の場で介護感の統一を図る
 - ・31年1月1日より職員のお誕生日面接を開始して職員の要望、展望など聞き可能な限り意に添える様にしていく。
- ③ 世代間交流を図る→昨年と同様に青島小学校との交流を継続する。
- ④ 研修生の受け入れ→社会福祉士、警察学校、介護福祉士、各種学校
- ⑤ 入居者の生きがい、楽しみが充実できるプランを立てる。教養娯楽費の有効活用を図る
 - ・倶楽部活動の充実を図る。
園芸倶楽部の活性化を図る(施設の前の畑の一部を借り野菜作りを継続する)
 - ・外出の機会を多く持つ。
 - ・ボランティアの協力を得る。
 - ・昨年同様「美味しい」、「楽しい」、「嬉しい」、時を企画運営。

相談業務

介護が必要となった高齢者で、日常生活が困難になった場合など、介護者等からの入所申込を受け、優先入所指針に基づいて、入所の必要性の高い方から入所の受け入れができるよう努めました。

在宅で介護をしているご家族が、様々な理由により介護が困難になった場合や、一人暮らしの場合の方から、優先入所検討委員会を設けて随時入所手続きをして参りました。

支援報告

入所されたご利用者が長期に生活できる施設として安心快適にお過ごしいただけるよう、できるだけの支援をしました。必要に応じて受診手続きの支援を行いました。

また、ご利用者様やご家族からの相談を受け、ご利用者様の心身の状況等についてご家族様との報告・連携を密に取らせていただきました。

相談報告

1. 常にご利用者様の心身の状況・その置かれている環境等の明確な把握に努め、ご利用者様またはご家族様に対し、相談に適切に応じると共に必要な助言とそのほかの援助に努めました。
2. ご家族様との「連携」を充実させ、必要な助言・援助を行うことに努めました。
3. 優先入所制度の円滑な運用に努力しました。

延利用者数

摘要	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
うち男性	389	396	359	372	394	400	403	405	401	311	308	341	4479
うち女性	1,664	1,731	1,655	1,731	1,723	1,618	1,691	1,676	1,741	1,734	1,913	1,795	20672
延利用数	2,053	2,127	2,014	2,103	2,117	2,018	2,094	2,081	2,142	2,045	1,921	2,136	24851

平均介護度

うち男性	3.47	3.46	3.41	3.41	3.47	3.60	6.70	6.67	3.65	3.80	3.81	3.81	4.13
うち女性	3.86	3.85	3.87	3.94	3.95	3.97	3.95	3.99	3.98	4.01	3.99	3.95	3.94
平均介護度	3.78	3.78	3.79	3.85	3.86	3.90	3.90	3.92	3.92	3.98	3.96	3.93	3.88

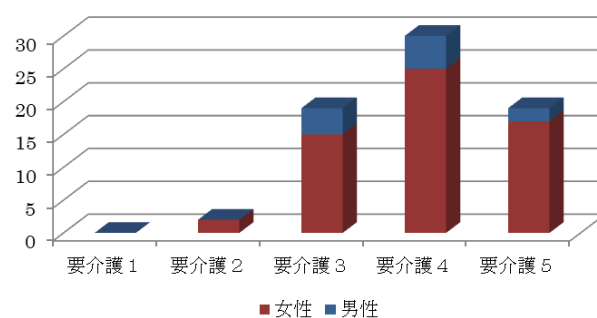
稼働率

稼働率(%)	99.3	99.5	97.7	98.7	99.1	98.3	98.4	99.1	99.0	95.9	98.3	99.8	98.48
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

要介護度別入居者数 (H31. 3. 31)

	女	男	介護度
要介護 1	0	0	0
要介護 2	2	0	2
要介護 3	15	4	19
要介護 4	25	5	30
要介護 5	17	2	19
総計	59	11	70

要介護度別入居者人数

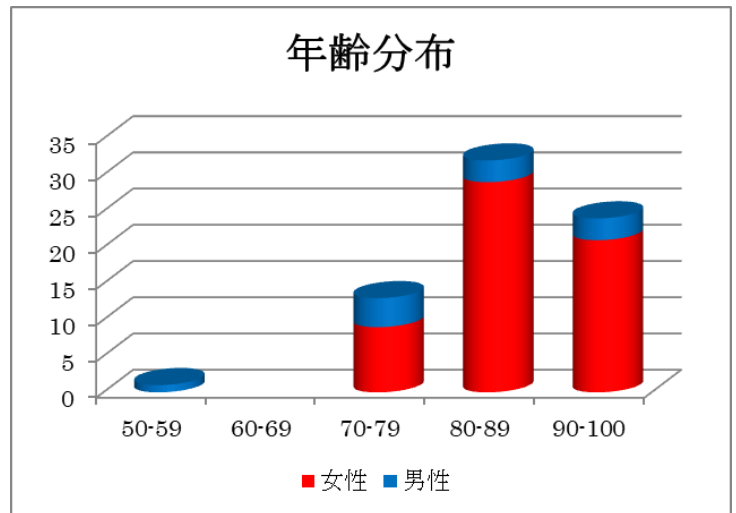


保険者別入居者数 (H31. 3. 31)

保険者名称	女	男	総計
藤枝市	48	9	57
焼津市	7	1	8
島田市	1	0	1
浜松市	1	0	1
静岡市	1	1	2
吉田町	1	0	1
総計	59	11	70

年齢分布 (H31. 3. 31)

年齢	女	男	総計
50-59	0	1	1
60-69	0	0	0
70-79	9	4	13
80-89	29	3	32
90-100	21	3	24
総計	59	11	70



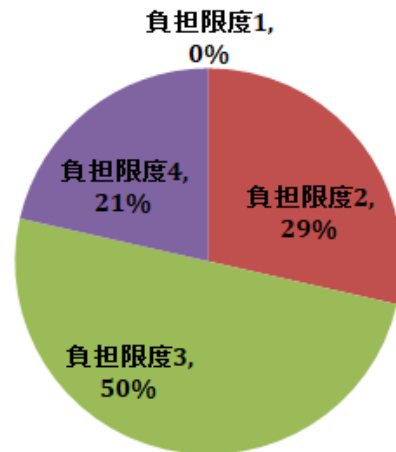
負担段階	人数	割合
負担限度 1	0	0%
負担限度 2	21	30%
負担限度 3	35	50%
負担限度 4	14	20%

利用者負担軽減状況

利用者負担軽減状況

社会福祉法人等利用者負担軽減

負担段階	人数	割合
社福減免	6	8.6%



優先入所検討委員会 開催状況

開催回	開催日	決定人数
第 70 回	H30. 5. 29	0
第 71 回	H30. 7. 10	3
第 72 回	H30. 7. 31	5
第 73 回	H30. 9. 20	1
第 74 回	H30. 9. 27	4
第 75 回	H31. 1. 29	1
第 76 回	H31. 2. 5	1
第 77 回	H31. 2. 12	1
第 78 回	H31. 2. 19	3
第 79 回	H31. 2. 26	2

新規入所者数 20 名

退所者・内訳

総退所者数	看取り	転院	自宅	入院中逝去	病死
21	11	7	0	2	1

支援業務

- ・支援計画（ケアプラン）の作成を行いました。その人らしさを重視した個別性のある計画を心掛けました。
- ・更新時と概ね6ヶ月ごとのアセスメントを実施してその都度フェイスシートの見直しを行いました。変更ある場合は随時行いました。
- ・6ヶ月ごとのモニタリングを行いモニタリングシートに記入をしました。
- ・状態に変化がある場合は、できるだけ担当者会議を開催し、家族や多職種の専門的な見地からの意見を伺い支援計画の見直しを行いました。
- ・区分変更時は家族や多職種から意見を伺い担当者会議を開きプランの変更を行いました。
- ・退院カンファレンスを行い変更のある場合や予後の状態や留意点などを共通理解し今後の支援の見直しを行いました。
- ・看取りの担当者会議を行い利用者様が残り少ない日々を安楽に過ごせるように他職種やご家族様と連携し調整や依頼などを行いました。
- ・多職種やご家族様との担当者会議の調整を行いました。担当者会議を開催してご家族にプランの説明をして 同意して署名をしていただき交付しました。
- ・入院 退院 受診同行を相談員や看護師とともに交代で行いました。

担当者会議開催回数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	1	1	1	8	10	11	17	7	7	8	11	7	89

また、介護保険の更新時の書類の提出をして認定がスムーズに行なわれるように、認定調査の立ち合いをしました。

介護保険認定調査立ち合い回数 41回

機能訓練

利用者様・ご家族様の意向を尊重しながら、身体機能の維持・向上を目指し、下記の事業を実施した。

- ・他職種と共同して個別機能訓練計画書の作成を行なった。
- ・個別訓練（歩行訓練、立ち上がり訓練、立位保持訓練、移乗訓練、マッサージ、関節可動域訓練、車椅子散歩等）
- ・集団訓練（ＴＶ体操・ラジオ体操・リハビリ体操）
- ・担当者会議への出席
- ・委員会、各行事への出席
- ・車椅子の確認等
- ・食事介助

月別訓練実施延人数

4月（個別訓練 127 名、集団訓練 172 名）	5月（個別訓練 140 名、集団訓練 172 名）
6月（個別訓練 129 名、集団訓練 173 名）	7月（個別訓練 148 名、集団訓練 150 名）
8月（個別訓練 160 名、集団訓練 219 名）	9月（個別訓練 141 名、集団訓練 137 名）
10月（個別訓練 153 名、集団訓練 186 名）	11月（個別訓練 162 名、集団訓練 194 名）
12月（個別訓練 166 名、集団訓練 205 名）	1月（個別訓練 130 名、集団訓練 153 名）
2月（個別訓練 112 名、集団訓練 162 名）	3月（個別訓練 140 名、集団訓練 212 名）

- ・今後は、入所者様はもちろん、職員の健康の維持増進も考慮して、ラジオ体操、リハビリ体操を更に普及させていければ、と考えています。

栄養業

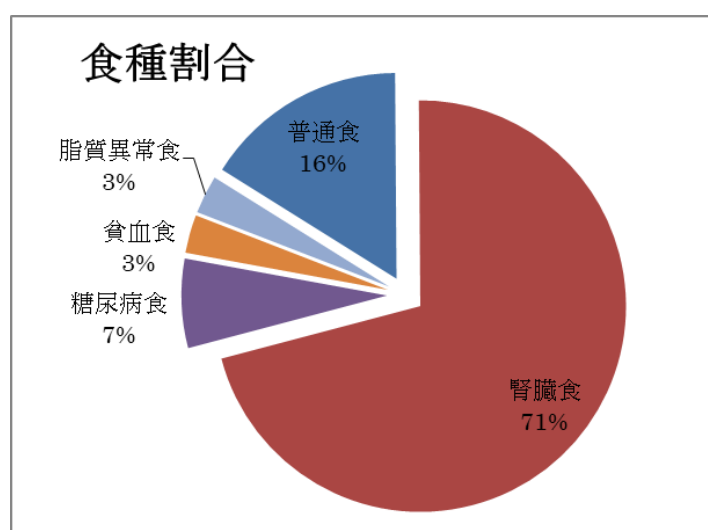
	エネルギー	たんぱく質	脂質エネルギー比	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩相当量	食物繊維総量
	k g	g	%	m g	m g	μ g	m g	m g	m g	g	g
男	1600	65	20~25	700	7	800	1.2	1.3	100	8.0	19
女	1400	60	20~25	650	6	650	0.9	1.1	100	7.0	17

務

栄養ケアマネジメントを実施しました。施設ケアプランに基づき、栄養計画書を作成し、定期的に評価、状態の変化に合わせて見直しを行いました。また毎食、心が伝わるようなおいしいお食事を提供できるように給食委託業者の指導を行いました。それぞれの食形態について、技術向上の努力も日々行っております。引き続き、おいしく楽しく気持ちよく、食事ができる工夫をしていきます。

1、食種（H31.3.31 現在）

食種	食数（人）	割合（%）
普通食	11	16
腎臓食	49	71
肝臓食	0	0
糖尿病食	5	7
胃潰瘍食	0	0
貧血食	2	3
脂質異常食	2	3
痛風食	0	0
脾臓食	0	0
合計	69	100



2、食形態（H31.3.31 現在）

	形態	食数（人）	割合（%）
主食	米飯	14	20
	軟飯	17	25
	全粥	27	39
	ソフト粥	10	15
	パン	1	1
	合計	69	100

	形態	食数（人）	割合（%）
副食	常菜	13	19
	一口大	14	20
	やわらか	25	36
	ソフト	17	25
	合計	69	100

※その他、個別対応食、ハーフ食、ターミナル食、禁止食、夜食など入居者様個人の状況に合わせて提供

3、栄養給与目標量（H30 年度）

栄養給与量（H30 年 1 月～12 月）

エネルギー	たんぱく質	脂質エネルギー比	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩相当量	食物繊維総量
k g	g	%	m g	m g	μ g	m g	m g	m g	g	g
1558	60.7	22.8	678	7.7	966	1.44	1.44	96	8.1	15.0

4、行事食

4 月	3 日	全ユニット	開設記念日
5 月	2 日	全ユニット	おやつ かしわ餅提供
	10 日	全ユニット	かつおのたたきを提供
6 月	11 日	デイサービス	デイサービス開設記念日お祝い膳
7 月	6 日	全ユニット	七夕献立
	20 日	全ユニット	土用の丑の日献立
	30 日	デイサービス	流しそうめん
8 月	3. 8. 13. 16. 22. 24 日	特養、ショート、デイ	流しそうめん
9 月	2 日	全ユニット	敬老会お祝い膳
	14 日	デイサービス	デイサービス敬老会
	28 日	全ユニット	おやつ おはぎ提供
	21 日	全ユニット	秋の味覚献立
	27 日	全ユニット	秋の味覚献立
10 月	12 日	全ユニット	秋の味覚献立
	18 日	全ユニット	秋の味覚献立
	26 日	全ユニット	にぎり寿司提供
11 月	12 日	全ユニット	秋の味覚献立
12 月	13 日	デイサービス	にぎり寿司実演、提供
	24 日	全ユニット	クリスマス献立（洋食）
	25 日	全ユニット	にぎり寿司提供
	31 日	全ユニット	年越しそば
1 月	1. 2 日	全ユニット	おせち料理
	7 日	全ユニット	七草粥
2 月	4 日	全ユニット	恵方巻き
	14 日	全ユニット	おやつ バレンタインのお菓子
3 月	4 日	全ユニット	ひなまつり献立
	22 日	全ユニット	春のお楽しみ献立
	22 日	全ユニット	おやつ ぼたもち提供

季節に合った献立にし、食欲が増すような工夫をしました。また料理の温度にも注意し、よりおいしく食べていただけるように心がけました。入居者様お一人お一人に合わせたお食事内容になるように努力しました。

行事食の他に、各ユニットごとに企画された調理レクリエーションの材料の準備、参加をしました。



4月3日 開設記念日



5月14日 ねぎとろ丼



6月11日 デイ開設記念日



6月11日 デイ開設記念日



7月6日 七夕献立



7月20日 土用の丑の日



9月2日 敬老会お祝い膳



9月14日 デイ敬老会お祝い膳



9月27日 秋の味覚献立



12月24日 クリスマス献立



12月13日 にぎり寿司実演



12月25日 にぎり寿司



2月4日 恵方巻き

12月21日 にぎり寿司



3月4日 お雛祭りのちらし寿司



3月22日 春の味覚献立

介護業務

菜の花開設8年目を迎えました。介護業界全般を覆う人材不足問題に対し介護の専門職として『目の前の入居者様に何が出来るのか?』のみならず『福祉』という仕事の魅力を次世代に伝え、考える動機と現職員の自己研鑽とスキルアップを目的とし、市内11の特養と老健が共同、藤枝市プロフェッショナルカイゴコンテスト（PK選手権）を開催しました。菜の花からは20代の職員6名が参加し、たくさんの刺激を受けたようです。内にだけではなく外に目を向けた活動に参加し、そこから学び得るもの、肌で感じた思いは若い職員には欠かせない経験になったと思います。若い職員の成長は菜の花の成長にもつながり、入居者様の生活にも結び付いていきます。平成30年度は若い芽がのびやかに育つための土壌を意識した活動に力を注ぎました。

1、教育委員会

菜の花で5年以上経験を重ねている介護職員が23名おります。経験を重ね「人財」となりえる大切な人材を安定して確保する＝安定した施設経営につながっていきます。その為には人材教育をどのように行なっていくかが一番重要な課題であると考え、各ユニットリーダーが務めていた委員から実習指導者研修、アソシエーター研修、キャリアパス研修など教育に携わる研修を受講した職員へメンバーを一新しました。経験を心得て疑問が生まれ、学びによって疑問を解消する、学びと経験は相互に関連しており、階段状に積み重ねることで菜の花にとってより良い『人財』育成につないでいきたいと考えています。平成30年度は介護サポートを対象とした移動移乗動作研修を開催しましたが、職種別研修にも力を注いでいけるよう各部署間の連携も図っていききたいです。

2、摂食委員会

食事とは人の命をつなぐ行為ではあるが、高齢者の日常生活においては『何よりの楽しみ』である行為です。但しその楽しみが時として誤嚥性肺炎に繋がる恐れがあります。可能な限りお食事を楽しく味わっていただくためにも、口腔機能及び口腔ケアに対する知識が必要と考え、藤枝市より歯科衛生士を派遣していただき研修を開催いたしました。嚥下機能・口腔ケアの重要性の講義と職員同士で口腔ケアを実際に介助しながら学びを深めました。日を改め、口腔ケアに課題がある入居者数名を対象にし、講師の先生が実際に口腔ケアに入ってください現場での実技指導を行ってくださいました。口腔ケア時の手の添え方、ブラシの当て方、食物残渣が溜まりやすい場所など入居者様の疾患と口腔内状態に併せた技術を指導していただき、参加職員も大変好評な好評な研修でした。介護とは常に変化する仕事であり携わる職員も日々の成長が求められます。年に1回でもこのような研修を開催し、成長に繋がられるよう活動していきます。

3、入浴・排泄委員会

『排泄とは生活機能全体を検討していく』という目的のもと今年度は活動を行いました。排泄動作には①トイレまで行く移動・移乗動作②トイレの場所や使い方ははじめとする認知機能③排泄動作④衣類の着脱動作（ズボンの上げ下げ）が含まれています。ひとりひとりの生活機能全体を見直す事で環境整備に対する支援が必要な方、リハビリによって移動移乗動作訓練が必要な方など個々の支援方法が変化していきます。トイレでの座位が保つことが難しくなってきた＝食事の姿勢も維持が難しい＝誤嚥性肺炎のリスクが高くなるといった生活全体のリスクに対しての予測したケアに繋がっていきます。排泄という切り取った一部を看るのではなく生活全体を視野に収めた取り組みを行っていきます。

昨年度シャワーキャリーを導入、4階は出浴入浴に負担のかからないアビット浴槽と組み合わせることで長坐位保持が可能な方が浴槽でのお風呂を安全に楽しめるようになりました。3階は個浴槽のみのため入浴介助においていちばんの危険とされる出浴入浴が改善されず臥床浴の方が年々増加しています。入居者様の楽しみと安全、職員の負担軽減を考慮し、ハード面の整備が次年度の課題として挙げられています。

4、感染症対策委員会

平成30年度のインフルエンザ発症者は『ゼロ』でしたが、2月3月の急激な急激な寒暖差で体調管理が難しくなったためか、同時期に3階4名、4階4名の入居者様に風症状が確認されました。要因分析を行ったところいずれの発症ユニットも食事介助を必要とする入居者様が多く職員の出入りが激しい、あたたかくなりマスク着用者が減っていた、職員は抵抗力があるため（感染しても発症しない）不顕性感染状態となっており意識せず菌の排出を行っていたのではないかと等が挙げられました。感染症に罹患されるとその後の生活にも影響が出て来る事もあり標準予防策と感染経路別予防策は引き続き検討していきます。各フロアで褥創リスクが高い入居者様の情報共有に努めました。担当職員が褥瘡スケールに則り観察を実施、看護職員、栄養士とともに一人一人のご入居者様の拘縮・姿勢・寝姿・食事量・排泄状態などを検討、評価を実施しました。必要に応じてケアの改善や医療的処置を図り、評価結果については面会時ご家族様へ説明を行いました。来年度以降もご家族様に報告・相談・提案を随時行い、ご家族様とともにケアに携わっていきます。

5、身体拘束委員会

身体拘束に対する施設の指針を周知、身体拘束ゼロを実践しています。平成29年度に菜の花で行ったスピーチロックに向けての取り組みを平成30年静岡県福祉研究大会で発表いたしました。スピーチロックは『言葉かけ』という行為であり『接遇』からの視点も併せ持っています。『言葉かけ』はケアを形成する重要な要素であり、場の雰囲気を作り上げる要因でもあります。対人援助の仕事とは『感情』に寄り添う仕事であり、ケアの場面における『感情』とは『入居者様の感情』と『自分たち職員の感情』の双方を指し示すのではないかと委員会では考えています。職員自身が自分自身の『感情』を意識すること、今日1日の仕事を日々『振り返り自分を見つめる』事は『言葉かけ』というコミュニケーションスキルが不可欠な介護現場においてももっとも必要な心構えではないでしょうか？『神は細部に宿る』という言葉が示すように、介護における『神』とは『入居者様に対する心』であり『細部』とは入居者様に接する際の職員の『言葉かけ』や『仕草』です。一人一人の職員の行動を変える動機づけに働きかける活動を今後も実施していきます。

6、事故対策委員会

事故対策委員会では平成30年6月、平成31年3月に内部研修を開催しました。平成29年12月に介護職員を対象としたアンケート結果に基づき、うらしま太郎セットを活用した高齢者疑似体験、再発防止に向けたリスクマネジメント研修を議題に取り上げました。「うらしま太郎」体験セットには老人性難聴を体験する耳栓、白内障と視野狭窄を体験する特殊メガネ、筋力低下を体験するサポーターや重りがあります。高齢者の生活には疾患が原因となり生活する上でたくさんの不便が生じています。これらを装着し、実際に読み書き、階段昇降、食事など日常生活にまつわるあらゆる動作を体験することで、高齢者の日常生活上での不便さや危険を体験、高齢者の視点に立った気づきや環境整備、声掛けなどを再度検討し疾患ごとに配慮すべきケアの課題が明確になりました。

再発防止に向けたリスクマネジメント研修では事例を基にグループディスカッションを実施、多角的な視点から検討しました。再発防止において何よりも大切なのは事故発生の要因と分析であり、要因と分析を適切に行うためには「その人の生活を知る」ことが大前提ではないかと結論に至りました。その人の生活には生活リズムはもとより、疾患（病態、服薬など）や環境（物理的、人的など）まで含まれます。人と環境の相互作用を理解し、他職種との絶え間ない情報（連続情報の有効性）共有が根拠ある要因と分析に結び付くと考え、今後もリスクマネジメントに向け取り組んでいきます。

7、看取り委員会

平成30年度退居された方は21名、逝去による退居は12名でした。（内訳菜の花開設初期からの入居者様2名、菜の花に入居されてから1年未満で逝去されている方が5名、2年以上5年未満の方4名、病死1名）医療機関への転院等が9名でした。開設初期に元気で入居されていた方が徐々に衰弱期に差し掛かっている、特養の入所要件が介護度3以上となり、入居を境に大きく生活環境が変わることがリロケーションダメージとなり心身への負担となっていることも要因として考えられます。リロケーションダメージ緩和にフォーカスした

ケアの取組みも今後の課題として挙げられました。また御家族様の希望で医療機関へ転院されるかたも多く、転院理由としては、夜間吸引困難が挙げられています。

看取りケア計画書の作成も浸透し、ユニット職員、栄養士、ご家族様が中心となり作成しています。印象的だった関わりとしては「おばあちゃん死んだら絶対口閉じてと言っていました。亡くなったら口を閉じてください」、「おばさん食べるの大好きだったから最期に一口食べさせてください」といった菜の花で過ごされてきた『今まで』とご家族様及びご本人様の思いを反映した計画書となっています。看取り後の振り返りを含め『生きるを支える』意味と意義を委員会活動で発信していきます。

7、クラブ活動など

書道クラブ：第2、第4水曜日開催。若い頃に慣れ親しんだ筆を手にとられ、季節ごとの文字をしたためています。先生からいただく花丸や時に手直しも次回への励みに繋がっており参加されたご入居者様にも熱が入っています。

華道クラブ：第3水曜健康クラブ日開催。季節の花々に触れ、口々に「きれいね」と喜んで下さいます。麻痺がある方も参加しやすく、完成した作品をホールや居室に飾る事で、他のご入居者様や御家族様との楽しい会話に花を添えています。

手芸クラブ：第3金曜日開催。根付などを作成しました。作品を作る過程だけではなく、完成した作品を使う事で新たな喜びにつなげることが出来ました。

絵手紙クラブ：第4金曜日開催。季節の風物詩を絵と言葉で表しメッセージを記しました。絵を描くに留まらず時には折り紙やちぎり絵を用いて素敵な作品が出来上がりました。

音楽クラブ：お誕生日のお祝いとしてユニットで懐メロや童謡を楽しみました。歌を唄う事で昔を思い出し気持ちの良いひと時を過ごせました。生のフルート演奏が聴ける贅沢なクラブです。

健康クラブ：機能訓練士が中心となり活動しています。フリーダムから流れる懐メロと映像にあわせ皆さん一生懸命身体を動かされています。

囲碁クラブ：碁盤を挟んで棋士がにらみ合い、白熱した一局を繰り広げています。



書道倶楽部 2月13・27日



菜の花の皆様のうち、大正・昭和・平成の三代を経験なさっている方が三割程いらっしゃいます。新しい年号は何になるのでしょうか、書道のお題にも良さそうです。



華道倶楽部 12月21日・28日

クリスマスとお正月のためのお花を活けました。とっても綺麗！ユニットやフロアーが、パーツと明るく華やかになりましたね！



絵手紙倶楽部 1月25日

美味しそうなイチゴが描けました。お味も抜群♪



もうすぐ菜の花作品展、入居者様も職員も作品作りに力が入ります！乞うご期待！

春

手芸倶楽部

健康倶楽部 2月12・28日



音楽に合わせて身体を動かします。心から気持ちよく歌うのも、身体に良いですね！目を閉じて、集中して腕の運動をする方もいらっしゃいます。

平成 30 年度実施年間行事

全体行事

月日	内容	
3月20日～4月10日	お花見ドライブ	各ユニット
7月1日～7月7日	七夕	各フロア
8月3日～8月18日	流しそうめん	各ユニット
9月2日	菜の花敬老会 お食事会	
9月27日	菜の花祭り (バザー・屋台・ゲーム)	
4月27日～5月10日	作品展	



ボランティア

年月日	行事
4月3日	ブルースカイ 日本舞踊
4月12日	紙芝居、ハーモニカ 久保田様
4月16日	紙芝居、ハーモニカ 久保田様
5月2日	とっつこうくっつこう
5月14日	日本舞踊 千郭会
5月18日	ティラミス ピアノ、フルート
5月23日	Fu〜風
6月6日	紙芝居、ハーモニカ 久保田様
6月12日	紙芝居、ハーモニカ 久保田様
6月27日	市川教室 大正琴
7月11日	乙女椿
9月5日	とっつこうくっつこう
9月10日	ティラミス ピアノ、フルート
9月21日	グルーポカーニャ
9月28日	FU〜風
12月17日	ティラミス ピアノ、フルート
1月9日	とっつこうくっつこう
2月13日	グルーポカーニャ
2月15日	FU〜風

3月15日(木) ボランティア 市川教室



ボランティア 紙芝居・ハーモニカ 久保田様鈴木様 6月6日(水)



ボランティア ティラミス 9月10日





久しぶりに見る本格的な日本舞踊の美しさに見惚れながら、黒田節など知っている歌を口ずさみました。

3月26日(月) ボランティア 千郷会 日本舞踊

ボランティア Fu〜風 5月23日(水)

ボランティア クルーポカーニャ 5月25日(金)



毎回、手品や尺八、日本舞踊など、伝統芸能を披露してくれます。飽きのこない演目で、選曲のセンスの良さも人気の秘訣。さて次はどんな曲を用意してくれるのでしょうか。

お馴染みになりましたアンデスの楽器数が種類あり、触らせてもらったり鳴らしたりと、アンデス音楽の演奏者になって、ひとときを楽しみました。



歌・読み聞かせ等、いつもバラエティに富んで、とても楽しいひとときでした。

入力と

3月7日(水) ボランティアとっつこうくっつこう



ボランティアブルースカイ4月3日(火)
フラダンス&日本舞踊

ご利用者様が知っていそうなフラダンスの曲や、初めて聞いた曲にうっとり和やかな気持ちになりました。ブルースカイさんによるカラオケがとてもお上手で、みんなで聞き惚れました。



ショートステイ菜の花 事業報告

定員：20名 特別養護老人ホーム菜の花併設

ショートステイ菜の花は8年目に突入し、毎月4～5名程の新規利用者と契約をしました。平成30年度の年間稼働率は、前年度を26.5ポイント下回り50.4%となり、80%の目標を達成することができませんでした。

カラオケ、おやつ作り、流しそうめん等のレクリエーション、花見や富士山静岡空港へのドライブ等、外出にも本格的に力を入れショートステイのユニット内も日々賑わいを見せております。

一年を通して、定期利用者の特別養護老人ホーム等の施設入所が相次いだり長期入院されたりし、前年度の年間稼働率を下回りました。また新規の方で1回のみのお利用の方を、どのようにリピーターになって頂けるか、今後の課題としてあげられます。

感染症に関しては疑いのある利用者様の早期対応等により集団発生に至る事はありませんでした。

平成31年度は年間稼働率52%以上を目標に掲げ営業活動を図っていきます。そして利用者一人一人が「ショートステイを利用してよかった。」「また来たい。」と思う明るいユニット作りを今後も行なっていきます。

利用状況

実人員	延人数	1日あたり人員	1人あたり日数	稼働率
478人	3677人	10.07人	7.69日	50.4%

利用者数 実人員

月	男	女	計
4	7	36	43
5	10	36	46
6	10	32	42
7	8	30	38
8	9	29	38
9	7	27	34
10	10	31	41
11	7	28	35
12	5	35	40
1	7	34	41
2	6	33	39
3	8	33	41
計	94	384	478

利用者延べ人数

月	男	女	計
4	61	290	351
5	80	309	389
6	66	259	325
7	47	221	268
8	70	246	316
9	62	247	309
10	73	221	294
11	53	187	240
12	46	212	258
1	48	262	310
2	45	266	311
3	57	249	306
計	708	2969	3677



デイサービス菜の花 事業報告

定員 : (月)～(金)25名(土)20名
特別養護老人ホーム菜の花併設

営業日 : 月曜日から土曜日 (年末年始を除く)

営業時間 : 午前9時30分～午後4時45分までの7時間15分

デイサービス菜の花では平成27年8月より個別機能訓練を開始いたしました。筋力維持向上を目指す利用者様到大変喜ばれております。毎日の集団体操も3種類以上行ない、機能訓練に力を入れました。また、毎月さまざまな行事を実施し利用者様の心身の活性化を図りました。調理・おやつレクは男性利用者様にも新しい刺激となり人気のレクとなっています。その他にも春夏秋冬の運動会、外出行事、季節行事等レク活動の充実や、小学生との世代間交流、大学生ボランティア受け入れ等で社会性や生きがいを持てるような取組みを行ないました。

既存利用者様の増回や市内居宅支援事業所からのご紹介がありましたが、入所者等があり、稼働率が昨年度(67.5%)に比べ今年度は(61.5%)と低迷しました。

利用人数

	利用人数 (人)	延人数 (人)	営業日数 (日)	平均利用 (人)	利用率 (%)
4月	42	410	25	16.4	67.8
5月	45	445	27	16.5	67.9
6月	44	426	26	16.4	67.2
7月	42	408	26	15.7	64.8
8月	41	407	27	15.1	62.1
9月	38	366	25	14.6	61.0
10月	40	390	27	14.4	59.5
11月	36	363	26	14.0	57.6
12月	37	369	25	14.8	61.5
1月	33	324	25	13.0	53.6
2月	34	316	24	13.2	54.5
3月	39	371	26	14.3	59.4
計	471	4595	309	14.9	61.5



畑で野菜の収穫



調理レク・おやつレク



流しそうめん



敬老会



外出レク



季節行事



ハロウィンパーティ



音楽生演奏レク



利用者出演クリスマス劇

居宅介護支援事業所菜の花 事業報告

事業の概要

要介護者が自宅での生活を続けられるように居宅サービス計画の作成等を行います。
利用者数の増加に伴い常勤で1名、職員が入職し、2人体制で運営しております。

居宅サービス計画作成数の推移（平成30年4月～平成31年3月）

	非該当	要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	1	7	6	14	18	3	4	1	54
5月	1	7	6	13	17	3	5	1	53
6月	1	7	6	17	18	3	4	1	57
7月	1	7	7	17	18	3	4	1	58
8月	1	8	7	16	16	4	5	1	58
9月	1	8	7	14	16	4	4	1	56
10月	1	8	7	15	16	5	4	1	57
11月		9	7	13	16	5	4	2	55
12月		9	7	13	16	4	4	2	54
1月		9	8	13	17	4	5	3	58
2月		10	11	14	17	3	6	2	63
3月		10	11	14	16	4	6	2	63

医務計画（健康サポートセンター報告）

< 実施可能な医療行為 >

① 褥瘡処置	0 1 名
② 浣腸摘便	0 2 名
③ 人工肛門	0 4 名
④ インスリン注射	0 1 名
⑤ 簡単な創処置	0 2 名
⑥ 在宅酸素療法	0 0 名
⑦ 胃瘻経管	0 0 名
⑧ 薬剤管理	7 0 名
⑨ バルーン管理	0 3 名

< その他の医療行為 >

1 感染症対策	
① インフルエンザ	0 0 名
② 疥癬	0 0 名
③ 「MR S A」	0 0 名
④ 結核	0 0 名

< お亡くなりになった方 >

1 「施設」で亡くなった方	1 2 名
① 「看取り」で亡くなった方	1 1 名
② その他の方	0 1 名
2 「病院」で亡くなった方	0 2 名

< 医務会議（健康サポートセンター会議） >

毎月 1 回

< 急変時の対応 >

1 救急車にて救急搬送先

- ① 藤枝市立総合病院・・・1 3 名
- ② 平成記念病院・・・・・・0 0 名

< 健康診断 >

1 入所者定期健康診査

- ① 実施期間 平成 3 0 年 1 0 月 0 4 日～1 2 月 2 1 日
- ② 実施機関 ほしのクリニック
- ③ 実施人数 7 0 名
- ④ 実施内容 胸部レントゲン・心電図・血液検査・尿検査
- ⑤ 費用 施設負担（検査内容により家族負担あり）

< 予防接種 >

1 インフルエンザ予防接種

- ① 実施期間 平成年 1 1 月 0 6 日～1 2 月 1 8 日
- ② 実施医師 嘱託医 星野正明先生
- ③ 実施場所 菜の花各ユニット
- ④ 実施人数 6 7 名

ボランティア受入報告

1. 日常生活支援と趣味活動支援ボランティア

	開催日	内容	主催者	来所人数
1	4月3日	日本舞踊	ブルースカイ	6名
2	4月12日	紙芝居、ハーモニカ	久保田様	1名
3	4月16日	紙芝居、ハーモニカ	久保田様	1名
4	5月2日	歌、読み聞かせ	とっつこうくっつこう	8名
5	5月14日	日本舞踊	千郭会	8名
6	5月18日	ピアノ、フルート	ティラミス	2名
7	5月23日	尺八、舞踊、手品	FU〜風	4名
8	6月6日	紙芝居、ハーモニカ	久保田様	1名
9	6月12日	紙芝居、ハーモニカ	久保田様	1名
10	6月27日	大正琴	市川教室	4名
11	7月11日	歌、合唱	乙女椿	9名
12	9月5日	歌、読み聞かせ	とっつこうくっつこう	8名
13	9月10日	ピアノ、フルート	ティラミス	2名
14	9月21日	フォルクローレ演奏	グルーポカーニャ	1名
15	9月28日	尺八、舞踊、手品	FU〜風	4名
16	12月17日	ピアノ、フルート	ティラミス	2名
17	1月9日	歌、読み聞かせ	とっつこうくっつこう	8名
18	2月13日	フォルクローレ演奏	グルーポカーニャ	1名
19	2月15日	尺八、舞踊、手品	FU〜風	4名

--

消防・防災 事業報告

1 消火・通報・避難・救護・総合訓練

平成 30 年 7 月 2 日 10:00~11:00

参加者 40 名(職員、入居者、利用者、消防設備業者)

訓練内容

通報訓練、消火訓練、避難訓練を連動して実施（日中体制時）。

避難終了後、職員・一部のご利用者で水消火器を使用して初期消火訓練を実施し、消防設備の取扱いについては、点検業者・防火管理者からの説明を受けました。

2 「社会福祉施設防災の日」総合防災訓練

平成 30 年 11 月 2 日 10:00~11:00

参加者 36 名(職員、入居者、利用者、消防設備業者)

訓練内容

通報訓練、消火訓練、避難訓練を連動して実施（夜間体制時）。

避難終了後、職員・一部のご利用者で水消火器を使用して初期消火訓練を実施し、消防設備の取扱いについては、点検業者・防火管理者から説明を受けました。

平成 30 年 9 月 18 日…全設備異常なし

平成 31 年 3 月 20 日…全設備異常なし



寄付・寄贈 報告

年月日	寄贈者	品目・数量
平成 30 年 10 月 9 日	藤枝市茶手揉み保存会	手揉み茶



平成30年度 苦情対応報告

平成31年3月31日
苦情解決管理責任者 川口節子

菜の花は今年で開設8年目を迎える事ができました。

お陰様で、皆様から頂戴しましたご意見やご協力が、職員の大きな糧となり、微力ではありますが、成長して参りました。

しかしまだまだ十分とは言えません。皆様にはご不便やご不快など、多くのご迷惑をお掛けしているのが現状でございます。

今後もお気付きの点、ご意見をお寄せ戴けますよう宜しくお願い申し上げます。

今年戴いた苦情は下記の9件でございます。

記

- 1 期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日
- 2 件数 09件
- 3 事業所内訳
 - ・デイサービス菜の花 1件
 - ・ショートステイ菜の花 2件
 - ・特別養護老人ホーム菜の花 6件

平成30年度 苦情・対応 一覧

受付年月日	事業区分	苦情内容	今後の対応方法
4月27日	ショート	家族送迎時の対応が職員によってまちまちである。	ご本人及びご家族の迷惑にならないように対応方法を統一しました。
7月28日	ショート	毎回実施しているショート利用時の事前連絡が施設からなかった。	事前連絡をしてもつながらない時には再度連絡をして確認をする。
10月15日	特養	ナースコールを押しても誰も来てくれなかった。	ナースコールの重要性を再認識するように指導した。入居者様本人からの苦情であり、担当者職員から本人に謝罪した。
10月23日	特養	髭剃りがしてなかった。顔も汚れている。	剛毛であり髭が伸びすぎて電気カミソリが効かなかった。伸びる前に毎日剃るようにした。
11月3日	特養	指の間が汚れていた。拘縮が強いため手の平が臭い。	不潔にしていた事に対して謝罪した。しっかり毎日拭くなり洗うなどの保清を行なう事とした。
11月21日	デイ	デイ送迎時、交通量の多い交差点で一時停止を義務付けられているにもかかわらず一時停止せず通過してしまった。	目撃した方からの匿名での連絡であり、感謝の意を伝えると共にドライバーに対しては、早急に安全管理者から事故予防に対する指導を行った。
12月20日	特養	電気料金の問い合わせについて事務所と現場との連携が不十分である。	利用内容を現場で確認し、事務職員は正しい請求をしていくことを周知した。
平成31年 3月7日	特養	体重測定が正しい方法か疑問。数値にばらつきがある。	多量に排便する方なので排便前と排便後では数値が変わることを説明した。
4月7日	特養	夜勤者対応が悪い。オムツ交換時「また出た」と言われてつらい思いをした。	夜勤者に対応法を注意した。入居者の気持ちに沿った介護ができるよう職員教育を実施した。

内部研修報告 一覧

開催年月日	研修名	主催者	会場	参加者職種	参加者氏名	研修内容
4月 2日	新人研修	西井戸	地域交流室	介護職 新入社員	松尾かおり、松尾春花	就業規則・組織の概要、フロア構造等
4月 2日	新人研修	中村	地域交流室	介護職 新入社員	大塚梢、小林健斗、長井千晶、青島朋輝、松尾かおり、松尾春花	介護保険制度の理解
4月 20日	身体拘束について	身体拘束 廃止委員会	地域交流室	施設職員	佐藤介護士長、和田 CW、塚本 CM、杉本相談員、米谷	(1) 身体拘束に該当する、もしくは身体拘束に準ずると思われるケースを挙げ、話し合いを行なった。 (2) スピーチロックについて
7月 6日	食中毒についての職員研修	感染・褥瘡委員会	地域交流室	介護職、事務職、用務	斉藤、斉藤ケアマネ、井戸端、栗田、紅林、飯塚、山内、大澄、石田	食中毒についての研修を行う
7月 11日	口腔ケア研修	藤枝市教育委員会	地域交流室	介護職	男性 10 名、女性 10 名の計 20 名	口腔ケアの大切さや実施の際の注意点等について学ぶ
7月 13日	食中毒についての職員研修	感染・褥瘡委員会	地域交流室	介護職、事務職、用務	池田、杉山、和田、池村、吉越、山内、杉本、米谷、石原、杉本侑	食中毒についての研修を行う
7月 20日	食中毒についての職員研修	感染・褥瘡委員会	地域交流室	介護職、事務職、用務	小林、佐藤、松尾、横山	食中毒についての研修を行う
8月 8日～10日	事故対策疑似体験	杉本 佐藤	地域交流室	介護職 事務	大澄、山内、塚本、他、計 15 名	高齢者疑似体験を通して介護に必要な視点を学ぶ
8月 22日	薬の管理について	看護師	地域交流室	介護職	松永、小林、斎藤、松野	特養における薬の管理や処方について学ぶ

開催年月日	研修名	主催者	会場	参加者職種	参加者氏名	研修内容
10 月 15 日 10 月 25 日	移動介助研修	杉本	地域交流室	用務	清水、井戸端、渡辺、金子、贅、横山、波多野、天野、池田、紅林、曾根、小野田	介護保険における移動介助の説明及び実技練習
10 月 26 日	排泄支援を通して快適性と尊厳を学ぶ	田中	地域交流室	介護職 事務職 用務	合計 29 名	排泄支援の意義や大切さ、具体的手法等について学ぶ
12 月 7 日	吐物処理講習会	森田	地域交流室	介護職 用務	大澄、斉藤、井戸端、渡辺、横山、紅林、曾根、小野田、佐々木、小田島、小林、小池、岸端、石原	吐物処理ボックスの説明及び使い方の実技
平成 31 年 3 月 29 日	事故対策委員会	事故対策委員会	地域交流室	介護職	望月、佐藤、大関、早川、沢本、坂上、仁木、渡邊	リスクマネジメントに関するビデオ研修

外部研修報告 一覧

開催年月日	研修名	主催者	研修会場	参加者 職種	参加者氏名	内容
4 月 20 日	社会福祉法人監事監査研修	静岡県社会福祉協議会	静岡県総合社会福祉会館	課長、監事	西井戸靖 杉山重人	社会福祉法人の水法人的指導監査等についての説明
5 月 23 日	平成 30 年度 しだ介護サービス事業者協議会定期総会	しだ介護サービス事業者協議会	藤枝市役所西館 5 階	特養相談員	大澄丈二	定期総会及び講演「次期改定に向けてこの 3 年間で準備しておくべきこと」
5 月 29 日	静岡県老人施設協議会中部支部総会	静岡県老人施設協議会中部支部	静岡県総合社会福祉会館	施設長	川口節子	「福祉職の離職率と対策」働き方改革の推進、各施設で職場環境改善、独自のシフトを作成してニーズに応える。
6 月 1 日	ターミナルケア研修	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉会館	介護職	山下哲也 沢本早代 石原春香	終末期の利用者への介護福祉の役割について
6 月 6 日	平成 30 年度 静岡県個室ユニット型施設連絡会	静岡県個室ユニット型施設連絡会	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	施設長	川口節子	講義「施設のケアマネジメントを考える」
6 月 9 日	日本地域福祉学会第 32 回大会	日本地域福祉学会	焼津文化センター小ホール	介護職	塚本正好	地域共生社会の構築を目指し、新たな地域福祉実践の拠点と展望を探る
6 月 29 日	平成 30 年度 静岡県看護管理者総会・第 1 回研修会	静岡県看護管理者会	静岡県コンベンションセンター「グランシップ」	施設長	川口節子	講演「アンガーマネジメントを学び、看護管理に活かす」
6 月 30 日	平成 30 年度 静岡県看護の質向上促進研修Ⅱ	静岡県看護協会	静岡市看護協会第 1 会議室	看護師	藤平正子	感染予防対策及び認知症看護に関する講演
7 月 3 日～ 9 月 25 日 (全 10 回)	理学療法士による大人運動教室	藤枝市児童課	れんげじスマイルホール	看護師	伊東邦子	座位、立位、臥位など様々な姿勢で行なえる高齢者向けの運動を学ぶ
7 月 4 日 13 日	魅力ある職場づくりセミナー	トモノ社労士事務所	焼津市総合福祉会館ウエルシップ	課長	西井戸靖	魅力があり採用が進む職場作りのために必要な要点を学ぶ

開催年月日	研修名	主催者	研修会場	参加者 職種	参加者氏名	内容
7月9日	「志太榛原地域の福祉・医療を語る会」主催 平成30年度講演会	志太榛原地域の福祉・医療を語る会	愛華の郷	施設長	川口節子	講義「社会福祉法人の在り方と今後の法人・施設の行動について」
9月3日～ 11月10日 (講義7日間、 演習1日)	介護職員等の喀痰吸引等研修	一般社団法人静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉会館シズウエル	介護職	沢本早代	介護職員等の喀痰吸引等研修に伴う講義及び演習
8月18日	第一回看護協会・連盟合同研修会	静岡県看護協会	ホテルセンチュリー静岡	施設長	川口節子	講演「女性活躍社会を目指す意義と看護職への提言」
8月20日	第10回静岡県高齢者福祉研究大会	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県コンベンションセンター「グランシップ」	介護職	佐藤、青島、 米谷	高齢者福祉大会を通して介護人材確保・育成、関係団体との交流を図る
9月3日	ターミナルケア入門講座	静岡県総合社会福祉協議会	静岡県総合社会福祉会館シズウエル	施設ケアマネ	斉藤正子	死に対する考え方やターミナルケアの関わり方について学ぶ
9月5日	魅力ある職場づくり 自社の働き方改革を考察しよう	トモノ社労士事務所	焼津市総合福祉会館ウエルシップ	介護職	堀田隆弘	魅力があり採用が進む職場作りのために必要な要点を学ぶ
9月5日	第1回大学生就職フェア	静岡県新卒者等人材確保推進本部	グランシップ	課長	西井戸靖	新卒大学生の就職に伴う企業と学生の交流の場の提供
9月13日	感染対策	藤枝市立総合病院	藤枝市立総合病院	看護師	佐々木	ノロウイルスに関する説明及び吐物処理の実技を学ぶ
9月14日	社会福祉法人 予算管理基礎講座	静岡県社会福祉協議会	静岡労政会館	課長	西井戸靖	予算の編成、執行及び管理について学ぶ
9月21日	ハローワーク焼津・島田・榛原障害者合同就職面接会	ハローワーク焼津・島田・榛原	焼津文化センター	課長	西井戸靖	身体・知的・精神障害者の方と企業との就職面接会
9月28日	富士データシステム 静岡県ユーザー会	富士データシステム	静岡県男女共同参画センターあざれあ	事務長	中村端穂	介護ソフトの新しいシステム運用についての説明
10月8日	認知症の本人が語り合う全国集い	静岡県健康福祉部長寿政策課	グランシップ	施設長 特養相談員	川口節子 斉藤正子	認知症本人の声を聞き、暮らしやすい地域を考えていく

開催年月日	研修名	主催者	研修会場	参加者 職種	参加者氏名	内容
10月17日	藤枝市通所サービス事業所連絡会	藤枝市社会福祉協議会	藤枝市役所3階	看護師	伊東邦子	理学療法士による腰痛に関する講義
10月12日 13日	第9回オールジャパンケアコンテスト	オールジャパンケアコンテスト実行委員会	米子コンベンションセンター	介護職	堀田隆弘 大塚篤樹	参加者の自己研鑽や理解を高め、介護とは何かを考え、学び合い、絆を深め、介護を支える土壌を育む
10月20日	志太榛原地区支部看護交流会	静岡県看護協会	青島北地区交流センター	看護師	藤平正子	シンポジウム「在宅で暮らすためにつなぐ・つながる看護」
10月24日	福祉の就職&進学フェア 福祉の就職カフェ	静岡県社会福祉協議会	グランシップ	課長	西井戸靖	講義及び企業が参加する就職相談会
10月29日	地域包括ケアシンポジウム「地域共生社会への挑戦」	静岡県社会福祉協議会	グランシップ	施設長	川口節子	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアのあり方について協議
11月11日	自立支援に向けた支援強化を目指して	地域包括ケア推進室	藤枝市役所5階	相談員	杉本律士	講義「自立支援に向けた支援強化を目指して」
11月21日	高齢者入所施設等における感染予防対策研修会	静岡県中部保健所	藤枝市総合庁舎	看護師	杉本弥生	感染予防に関する講義と実技
11月30日	より良い高齢者ケアを考えるセミナー	静岡県健康福祉部福祉指導課	静銀ホールフォニア	施設長 特養相談員	川口節子 斉藤正子	3部構成の講演及び対談を通して、より良い高齢者ケアを考える
12月8日	平穏な最期を迎えるために～様々な立場から考える～	志太医師会	志太医師会館	介護支援専門員	原崎尚子	医師、特養、社協等、様々な立場の関係者の講演
12月19日	介護保険事業所及び障害福祉サービス事業所の従事者等の感染症予防対策研修会	静岡県健康福祉部福祉指導課	藤枝市生涯学習センター	デイ看護師	伊東和子	講義及び講演「感染を広げない対策について」
12月21日	外国人介護職員雇用・受け入れセミナー	一般社団法人グローバル人財サポート浜松	静岡県男女共同参画センターあざれあ	課長	西井戸靖	外国人介護職員を受け入れるための在留資格や留意点等の説明
平成31年 1月15日	不在者投票事務説明会	静岡県選挙管理委員会	静岡県庁2階第1会議室	事務主任	中村端穂	不在者投票事務についての説明会

開催年月日	研修名	主催者	研修会場	参加者 職種	参加者氏名	内容
1月23日 2月12日 2月13日	福祉職員キャリアパス対応生涯学習過程 初任者コース	静岡県社会福祉協議会	静岡県総合福祉会館 シズウエル	介護職	小林健斗	参加型のワークショップを中心に学ぶことにより主体的に自身のキャリアデザインを描く
1月31日	静岡県優良介護事業所表彰 受賞者事例発表会	静岡県介護保険課	しずぎんホールユー フォニア	施設長	川口節子	人生の最後まで自分らしく生活ができるよう工夫している介護事業所の取り組みを紹介
2月3日	認知症対応力向上研修会	静岡県歯科医師会	藤枝市保健センター	介護支援専門 員	原崎尚子	認知症の本人と家族を支える知識と方法を修得する
2月8、9日	平成30年度 中部支部総会及 び管理者研修	静老協中部支部	ホテルアンビア松風 閣	施設長	川口節子	講義「どうすれば人が育ち、定着する組織づくりができるか」
2月28日	認知症介護基礎研修	静岡県社会福祉協議会	静岡県総合福祉会館 シズウエル	介護職	小長谷稜	認知症介護にかかわる職員のスキルアップ
2月18日	BCP 策定研修会	愛華の郷	愛華の郷	課長	西井戸靖	災害時等に事業が継続できるよう、あらかじめ計画書の策定を行うことの意義と策定方法について学ぶ
2月19日	身体拘束廃止フォーラム	静岡県介護福祉士 会	グランシップ中ホー ル	施設長 介護職	川口節子 広瀬奈美枝 飯塚麻帆 神奴豊子	高齢者の権利擁護及び身体拘束廃止について講演等を通して学ぶ
2月22日	看護管理者会 第2回研修会	静岡県看護管理者 会	グランシップ10階	施設長	川口節子	看護職の質の向上を目指す研修。「看護覚え書」そこから見える課題
2月28日	認知症研修基礎講座	静岡県社会福祉協議会	静岡県総合社会福祉 会館7階	介護職	小長谷稜	認知症の理解と対応の基本について学ぶ
3月4日	志太榛原地区特養施設長連絡 会	志太榛原地区特養 施設長会	牧之原市相良総合セ ンター	施設長	川口節子	外国人の介護職員の在留資格について学ぶ
3月5日	地域包括ケアと介護施設の果たす役割	静岡県老人福祉施 設協議会	静岡県総合福祉会館 シズウエル	相談員	杉本律士	介護施設での平穏死について学ぶ

開催年月日	研修名	主催者	研修会場	参加者 職種	参加者氏名	内容
3月8日	平成31年 静岡県福祉職合同 入職式	静岡県社会福祉協 議会	グランディエールブ トーカイ	課長 介護職	西井戸靖 高橋ことみ	平成31年4月入職職員を対象にした合 同入職式及び記念講演
3月9日	静岡県看護協会志太榛原地区 支部集会	静看協志太榛原支 部	藤枝市産学官連携推 進センター	看護師	松浦由佳	言語聴覚士を講師に招き、テーマ「口 から食べるをささえる」について学ぶ
3月13,14日	第4回甲種防火管理新規講習	志太消防本部予防 課	志太消防本部	介護職	堀田隆弘	防火管理者資格取得のために必要な知 識を学ぶ
3月14日	第2回 静岡県看護協会・看護 連盟合同研修会	静岡県看護協会	静岡県看護協会 第1研修室	施設長	川口節子	講演「鞘翅・多死社会を生き生きと活 躍する看護師になるために」
3月19日	平成30年度 静岡県老人福祉 施設協議会3月定例会	静岡県老人福祉協 議会	静岡県総合社会福祉 会館7階	施設長	川口節子	講義「見守りロボットの導入に向けて」
3月25日	「救急車を呼ぶということは」 望まぬ蘇生は中止できるか？	志太医師会	志太医師会館2階	相談員	松尾春花	自宅での看取りと救急搬送について考 える

事業報告の附属明細書

該当事項ありません

社会福祉法人聖啓会

